

平成23年6月23日

新見市長 石垣正夫 様

新見市地域審議会
会長 上原米子

追加提言書

謹啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

公務大変御繁忙の折、3月の新見市地域審議会全体会議に御臨席を賜り、誠に有難うございました。会議では、各部会がまとめた提言書をお受け取り頂くとともに、委員各位に対しまして御丁寧な労いのお言葉を頂戴しましたこと衷心より厚く御礼申し上げます。

さて、かがやきの文化都市部会では、「廃校の利活用について」真摯な議論を重ねて提言としていくつかの事項をまとめました。その内容は、将来的に地元の生活環境や地域の活性化に繋がるものであると自負しております。

しかしながら、去る3月11日に発生した東日本大震災により日本全体の状況が大きく変化しつつあるなか、提言の内容について追加で加えるべきものが生じたのではないかと判断しました。

新見市内の児童・生徒に対する学習環境を整備することは重要であると考えますが、それと同時に今回被災された多くの子ども達の教育環境を整えるための支援を打ち出すことも同じように重要なことではないかと考えます。

幸い、新見市は全国トップレベルの情報インフラを持っています。この利点を最大限に活かした本市ならではの支援が、廃校の活用を通じてできるのではないかと考えます。そこで、既に提出した内容に加えて、下記のことを追加提言します。

謹白

記

- 1 新見市内の状態・条件のよい廃校を選定し、被災児童・生徒の学校としてまとめて受け入れてはどうか。
- 2 新見市内の空き家、空き部屋を調査し、当該児童・生徒その家族及び教職員等の住居として一体的に受け入れてはどうか。
- 3 1・2をまとめた総合受け入れ対策を計画実施してはどうか。

何卒、御検討を賜りますよう節にお願い申し上げます。

以上